

2018年度 アジア研究センター活動報告

2018年4月～2018年9月

アジア研究センター主催によるシンポジウム

●シンポジウムテーマ：

「米朝首脳会談とは何だったのか」

◆2018年7月9日(月)

13:30～13:40

来賓祝辞：李 明烈(駐横浜大韓民国総領事)

第一部 13:40～15:10

テーマ：「2018年に朝鮮半島をめぐる激変した国際環境を分析する」

報告者：全 在晟(ソウル大学校教授)

報告者：森 聡(法政大学教授)

討論者：曹 良鉉(国立外交院外交安保研究所教授)

討論者：平井 久志(共同通信客員論説委員)

座長：西野 純也(慶應義塾大学現代韓国研究センター長、同法学部教授)

第二部 15:25～16:55

テーマ：「今後の北東アジアを展望する」

報告者：李 貞澈(崇實大学校副教授)

報告者：徳地 秀士(政策研究大学院大学シニア・フェロー、元防衛審議官)

討論者：趙 太庸(6者会合次席代表・首席代表、駐オーストラリア大使、外交部第1次官、青瓦台国家安保室第1次長を歴任)

討論者：小此木 政夫(慶應義塾大学法学部名誉教授)

座長：佐橋 亮(神奈川大学アジア研究センター所長、同法学部教授)

共同研究グループ主催による公開研究会

●研究グループ：「東アジアにおける安全保障秩序の変動」

◆2018年7月30日(月)(非公開)

報告1：「韓国の東アジア地域協力構想」

報告者：西野 純也(慶應義塾大学法学部教授)

報告2：「冷戦後のアメリカの東アジア戦略と同盟」

報告者：玉置 敦彦(都留文科大学専任講師)

●研究グループ：「東アジアにおける東西文明の出会い 或いは衝突」

◆2018年5月30日(水)

報告：「フランスと禅—弟子丸泰仙の足跡を通して—」

報告者：呉春美(神奈川大学経済学部特任教授)

◆2018年7月4日(水)

報告：「昆布と炭毒—多面的な文化理解の起点として」

報告者：中林 広一(外国語学部准教授)

●研究グループ：「植民地国家と近代性：アジア諸国を中心とする比較研究」

◆2018年7月14日(土)

報告：「北タイ、チェンマイの宗教と社会変動：歴史的パースペクティブから」

報告者：福浦 一男(桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部准教授)

●研究グループ：「アジアの社会遺産と地域再生手法」

◆2018年5月28日(月)

報告：「消えていくもの、残っていくもの

—アジア的な素材、技法と空間造形—」

報告者：西堀 隆史(モンクトーン工科大学講師)

